

お口の恋人

**LOTTE**

# **SUSTAINABILITY REPORT**

# **2016**

ロッテ サステナビリティ レポート 2016



<p><b>MESSAGE</b></p> 	<p><b>PHILOSOPHY</b></p> 	<p><b>GOVERNANCE</b></p> 
<p>トップメッセージ</p>	<p>理念体系</p>	<p>コーポレート・ガバナンス</p>
<p><b>FEATURE 01</b></p> 	<p><b>FEATURE 02</b></p> 	<p><b>FEATURE 03</b></p> 
<p><b>社員 座談会</b> サステナビリティで考える ロッテグループの今と未来</p>	<p>健康を、おいしく。 ロッテノベーション</p>	<p>サステナビリティ・ハイライト 2016</p>

**ACTIVITIES** 活動報告

7つの行動憲章にもとづいた社会性・環境活動を紹介します。

<p><b>ACTIVITY 01</b></p>  <p><b>品質・安全</b></p> <p>安全で安心できる高品質の 製品・サービスを提供します。</p>	<p><b>ACTIVITY 02</b></p>  <p><b>コンプライアンス</b></p> <p>正直な企業であり続けます。</p>	<p><b>ACTIVITY 03</b></p>  <p><b>情報開示</b></p> <p>情報をお伝えします。</p>	<p><b>ACTIVITY 04</b></p>  <p><b>従業員</b></p> <p>働く人を大切にします。</p>
<p><b>ACTIVITY 05</b></p>  <p><b>環境</b></p> <p>環境問題を 重視しています。</p>	<p><b>ACTIVITY 06</b></p>  <p><b>社会貢献</b></p> <p>社会貢献にも 積極的に取り組みます。</p>	<p><b>ACTIVITY 07</b></p>  <p><b>海外の取り組み</b></p> <p>海外でも 社会貢献を推進します。</p>	<p>すぐわかる ロッテのサステナビリティ</p> 

報告内容について

対象範囲： 本レポートは、株式会社ロッテホールディングス、株式会社ロッテ、ロッテ商事株式会社の活動を基本に紹介しています。環境パフォーマンスに関わるデータについては、浦和、狭山、九州、滋賀、神戸の5工場を範囲としています。

対象期間： 2015年4月1日～2016年3月31日  
※ただし、年次報告以外の活動については、直近のものも含まれます。

報告年月： 2017年1月

# MESSAGE

## トップメッセージ

企業理念のもと  
社会・環境のサステナビリティに貢献します。



代表取締役社長 佃 孝之

### サステナビリティにおいてロッテが大切にしていること

来る2018年に、ロッテグループは創業70周年を迎えます。ロッテグループは創業以来、甘味や子ども向けのお菓子にとどまることなく、歯を丈夫で健康に保つキシリトールガムや、生きた乳酸菌が摂取できるチョコレートなど、現代社会において人々の生活に貢献できる価値を提供し続けてまいりました。

企業理念である、「私たちはみなさまから愛され、信頼される、よりよい製品やサービスを提供し、世界中の人々の豊かなくらしに貢献します。」というグループミッションと、大切にすべき価値である「ユーザーオリエンテッド、オリジナリティ、クオリティ」という3つのロッテバリューを追求し続けることが、あらゆる事業活動の基本となっています。

これからも企業理念のもと、持続可能な社会の実現に向けて、品質の安全・安心を守ること、食と健康にかかわる新たな価値を積極的に提供し続けること、自然環境や地域社会と共生すること、そして、お客様を初めとする多様なステークホルダーと適切に関わることを大切に、事業活動を行ってまいります。

### 安心・安全の徹底

これまでロッテグループは企業理念のもと、あらゆる製品・サービスにおいて最上の品質にこだわり、安心・安全を徹底してまいりました。2015年には、ロッテグループにおける食の安全・安心を、統一した見解に基づき包括的に推進する部署として、品質保証部を設立し、より一層の安心・安全の徹底に努めております。また、ロッテグループの品質へのこだわりは、安心・安全はもちろんのこと、「おいしさ」、「たのしさ」、「やすらぎ」を提供することで、社会の豊かさの向上に貢献することです。

## ❖ 食と健康への取り組み「ロツテノベーション」

ロッテグループは企業理念に基づいた事業活動を通じて、食によって人々が心身ともに健康であり続けられる社会の実現に向けて、積極的に取り組んでまいります。こうした考えのもとで進めているのが「ロツテノベーション」です。「ロツテノベーション」はお菓子にイノベーションを起こし、人々の食と健康に貢献していくことを目指しています。

例えば、2015年に発売した「スイーツデイズ 乳酸菌ショコラ」や「キシリトールオーラテクトガム」は、これまでのチョコやガムになかった新しい価値を実現した製品です。「スイーツデイズ 乳酸菌ショコラ」は乳酸菌をチョコで包み腸まで届きやすくする独自製法によって、乳酸菌をいつでもどこでも手軽に摂るというスタイルを生み出しました。また、「キシリトールオーラテクトガム」は、ユーカリ抽出物を配合することで、嗜好品としてのガムに「歯ぐきの健康を保つ」という機能を付加しました。

## ❖ 自然環境や地域社会との共生

ロッテグループは自然の恩恵を受けて成長し、地域社会の一員として成り立っていることをよく理解し、グローバルにおいて自然環境や地域社会と共存し共栄していく責務があると認識しています。ロッテグループの各工場では、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」に準じた活動を通じて、環境負荷の低減に努めています。また、グローバル企業として成長・発展していくためには、日本国内にとどまらず、海外のグループ会社や地域社会においても文化や慣習に配慮した事業活動に取り組んでまいります。

## ❖ コーポレートガバナンスの徹底とコンプライアンスの遵守

ロッテグループは、お客様、お取引先、従業員など多様なステークホルダーに対して、常に謙虚であり、対話を心掛け、公明正大な企業活動を行ってまいります。ステークホルダーのみなさまから信頼される企業であり続けるためには、健全で誠実な企業経営の継続が不可欠です。私たちは、これからも企業統治体制の整備を進め、透明性の高い企業経営に努めていきます。

また、ステークホルダーである従業員一人ひとりが働き甲斐をもって、いきいきと活躍できる環境を整えることが、ロッテグループの企業価値向上の源泉だと考えます。そこで、「いきいき活躍推進室」を設置し、多様な社員の価値観を尊重し、年齢・国籍・性別を問わず、それぞれの能力を最大限に発揮するための仕組みや制度づくりを推進していきます。

私たちロッテグループは企業理念に基づいた事業活動を通じて、これからも持続可能な社会の実現を目指してまいります。本レポートでは、これらサステナビリティに関するさまざまな活動を報告しております。ぜひご覧いただき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。



# PHILOSOPHY

## 理念体系

ロッテグループが大切にしてきた3つの価値「ユーザーオリエンテッド」「オリジナリティ」「クオリティ」をロッテバリューと位置づけ、企業として果たすべき使命を示したロッテグループミッションとあわせて、企業理念として体系化しました。また、その実現に向けた7つの行動憲章も定めています。



## 企業理念

### LOTTE Group Mission

【ミッション】

私たちはみなさまから  
愛され、信頼される、よりよい製品や  
サービスを提供し、世界中の人々の  
豊かなくらしに貢献します。

### LOTTE Values

【大事にすべき価値】

#### User Oriented

消費者の立場になって考えること

#### Originality

独創的なアイデアを探しつづけること

#### Quality

すべてにわたって最上の品質を究めること

# LOTTE Group Way

【行動憲章】



## 1. 安全で安心できる 高品質の製品・サービスを提供します。

- 私たちは、お客様に満足していただける製品やサービスを提供します。
- 私たちは、適切な品質・衛生管理体制を徹底します。
- 私たちは、あらゆるプロセスにおいて製品の安全に配慮し行動します。

→ [さらに詳しく](#)



## 2. 正直な企業であり続けます。

- 私たちは、すべての法令・規定を遵守します。
- 私たちは、公正で透明性のある取引を行います。
- 私たちは、高い倫理観に則った企業活動を進めます。

→ [さらに詳しく](#)



## 3. 情報をお伝えします。

- 私たちは、常にお客様第一を心がけ、製品やサービスに関する適切な情報を積極的に提供します。
- 私たちは、広く社会とのコミュニケーションを行い、必要な情報をタイムリーにお伝えします。

→ [さらに詳しく](#)



## 4. 働く人を大切にします。

- 私たちは、従業員の多様性、人格、個性を尊重します。
- 私たちは、安全で働きやすい労働環境の整備に努めます。

→ [さらに詳しく](#)



## 5. 環境問題を重視しています。

- 私たちは、グローバルな視点で環境問題に配慮した企業活動を行います。
- 私たちは、環境負荷の軽減や環境保全を推進します。

→ [さらに詳しく](#)

---



## 6. 社会貢献にも積極的に取り組みます。

- 私たちは、良き企業市民であることを自覚し、奉仕の精神をもって積極的に社会貢献を行います。
- 私たちは、企業活動を通して社会と密接にかかわり続け、社会の発展に貢献します。

→ [さらに詳しく](#)

---



## 7. 海外でも社会貢献を推進します。

- 私たちは、国際ルールや現地の法律を遵守するとともに、現地文化や慣習を尊重し、関係各国・地域の発展に貢献します。

→ [さらに詳しく](#)



# GOVERNANCE

## コーポレート・ガバナンス

企業統治体制の整備を進め、  
透明性の高い企業経営に努めていきます。



## コーポレート・ガバナンス

### ❖ 基本的な考え方

お客様をはじめとしたさまざまなステークホルダーのみなさまから信頼される企業であり続けるためには、健全で誠実な企業経営の継続が不可欠です。私たちロッテグループは、これからも企業統治体制の整備を進め、透明性の高い企業経営に努めていきます。

→ [企業理念、行動憲章はこちら](#)



## ❖ コーポレート・ガバナンス体制

ロッテグループにおける経営の意思決定機関は、経営会議と取締役会です。これらの組織はグループ会社の業務執行を監督する役割も担っています。

また、2004年度には執行役員制度を導入し、経営の監督と執行の分離を進めるとともに、意思決定の迅速化を図っています。

2016年9月末現在、取締役13名（うち社外取締役2名）、執行役員19名体制でグループの経営を担っています。

## ❖ 経営を監視する体制

ロッテグループでは、監査役が経営を監視する役割を担っています。監査役は、取締役の職務執行を監督・監視し、法令違反や他の不正行為の防止に努めています。

また、監査部門では、監査部がグループ各社に対して従来から実施していた定期的な監査のほか、必要に応じて個別の監査を行い、グループ各社のさらなる経営の健全性向上に取り組んでいます。

こうした内部監査に加えて、外部監査機関による会計監査を実施し、第三者の視点からグループ経営の適法性を検証するとともに、財務情報の信頼性と透明性の向上を図っています。

また、客観的、中立的な立場から取締役会への助言をいただくことを目的に、社外取締役2名を選任しました。これにより、コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスのさらなる強化を図り、経営基盤を磐石なものとしています。

2016年度以降も、引き続き内部統制の強化に取り組んでいきます。

# リスクマネジメント

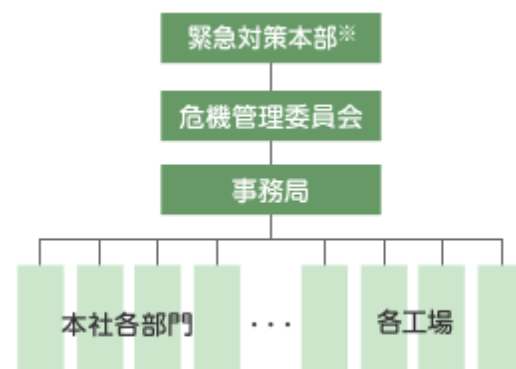
## ❖ 基本的な考え方

ロッテグループでは、各関連部門からの代表者で構成される「危機管理委員会」が、全社のリスクマネジメントを統括する役割を担っており、グループ横断的なリスク管理体制を構築しています。

危機管理委員会では、変化し続けるリスク要因を見直し、事業活動を行う上で顕在化し得るリスクの防止に努めるとともに、顕在化した際の被害を最小限に抑えるための対策などに取り組んでいます。

また、お客様の安心・安全をおびやかす品質問題などが発生した場合に備え、「緊急事態対応マニュアル」を作成しています。緊急事態対応マニュアルは、定期的に見直し、改訂を行い、全従業員が迅速かつ適切に行動できるよう示しています。

危機管理体制図



※ 重大リスク発生時のみ設置

## 従業員への教育・研修

ロッテグループでは、事故、災害をはじめとする緊急事態が起きたときに備え、全従業員に「危機管理ブック」を配布し、通読を促しています。また、新入社員や中途採用者など、新たに入社する従業員に対しては、「緊急事態対応マニュアル」に基づく研修を実施し、不測の事態にも落ち着いて、適切な行動が行えるよう指導・教育を行っています。



研修風景

## 大規模災害への対応

ロッテグループは、東日本大震災を踏まえて、2012年に「大規模災害対応マニュアル」を策定しました。本マニュアルでは、地震などの大規模災害発生時に従業員が安全を確保し、二次災害を防止するなど冷静に行動するためのガイダンスを示しているほか、普段の備えについても説明しています。これを危機管理委員会委員と部門長、部署長に配布し、内容を共有しています。また、災害発生後、事業を速やかに復旧・継続するための「事業継続計画（BCP）」も併せて策定しました。

「大規模災害対応マニュアル」に沿って非常食や各種備品の確保などを進めるほか、避難訓練を実施するなどして有事に備えています。避難訓練については、東日本大震災で得た教訓などを踏まえて、さまざまな想定のもと、毎回工夫しながら実施しています。また、全従業員に「防災カード」を配布し、日頃から災害時の対応についての意識づけを図っています。



訓練の様子

## AED（自動体外式除細動器）の設置

当社を訪問されたお客様、地域住民の皆様、従業員に万一のことが起きた場合に備えて、本社と各工場にAED（※）を設置しています。

いざというときにAEDを正しく操作できるよう、本社、各工場の従業員は、AEDの操作方法や人工呼吸などの救命措置について消防署の指導を受けています。

※AED：自動体外式除細動器。突然心臓が止まって倒れてしまった人に対し、必要に応じて電気的なショック（除細動）を与え、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器。



AED設置の様子



AED講習

## すぐわかる! ロッテのサステナビリティ

お客様に豊かな生活と夢を提供するために、ロッテグループが取り組んでいるさまざまな活動の中から、5つのテーマについて皆様からの質問にお答えします。

→ 安全や安心への取り組みをおしえて

→ お菓子のパッケージのゴミを減らす工夫は?

→ アレルギーが心配なのですが…

→ どんな社員教育があるの?

→ 家族で楽しみながら学べる方法がありますか?

→ 工場ではたくさん電気を使いそうだけど…

→ お口と全身の健康についておしえてほしい

→ カカオの産地にはどんな支援をしているのですか?

### 1 たとえば品質で — 安全・安心でおいしいお菓子を届けたい



安全や安心への取り組みをおしえて

国際基準などに則り、原材料の調達から生産、出荷に至るまで各工程で、品質管理を徹底しています。たとえば、工場では製品に異物が入らないよう複数の機械で厳重にチェックしています。

→ [さらに詳しく](#)



アレルギーが心配なのですが…

商品の食品情報表示欄では、食品安全に関する情報などを記載しています。アレルギー物質については、表示が義務づけられている7品目と表示が推奨されている20品目を記載し、安心してお召し上がりいただけるよう配慮しています。

→ [さらに詳しく](#)



## 2 たとえば健康で —「噛む」ことの大切さを伝えたい



家族で楽しみながら学べる方法がありますか？



たとえば「しっかり噛んで健康家族 ロッテ チューイング・ランド」というイベントを全国で開催しています。クイズやオリジナルガムの製作などで、噛むことの大切さを楽しみながら学ぶことができます。

→ [さらに詳しく](#)



お口と全身の健康についておしえてほしい



公益財団法人「日本学校保健会」との共催で講座を開催し、小学校の子どもたちに歯と口の健康づくりやキシリトールについて伝えるなどの活動に取り組んでいます。

→ [さらに詳しく](#)



## 3 たとえば環境で——地球の豊かな自然を守りたい



工場ではたくさん電気を使いそうだけど…



お菓子やアイスの生産工程では、加熱や冷却・冷凍が必要なため多くの電気や燃料を使います。そこで、ロッテの各工場では、省エネタイプの設備や機器を積極的に導入しているほか、節電などの活動に取り組んでいます。

→ [さらに詳しく](#)



お菓子のパッケージのゴミを減らす工夫は？



パッケージは、お菓子を守るために欠かせないものですが、食べ終わるとゴミになってしまうのも事実です。そのためロッテでは、パッケージをできるだけ軽く・薄くすることなどでゴミを減らす工夫をしています。

→ [さらに詳しく](#)





## 4 たとえば人材で——社員の意識向上と能力育成を支えたい



どんな社員教育があるの？



ロッテは、従業員一人ひとりが個性や能力を発揮していきいきと働けるよう、仕事に関する専門知識・技術はもちろん、語学、その他の通信教育など、多様な教育プログラム・研修制度を用意しています。

→ [さらに詳しく](#)



## 5 たとえば国際貢献で——カカオ原産国の人たちに笑顔をもたらしたい



カカオの産地にはどんな支援をしているのですか？



ロッテ「ガーナチョコレート」の名前に縁の深い西アフリカのガーナ共和国。同国の農村地域では、病院が少なく薬や設備も不足しているため十分な治療が受けられないという問題を抱えています。ロッテは、保健施設の建設支援や救急車代わりとなる自転車寄贈などに貢献しています。

→ [さらに詳しく](#)





ロッテグループでは、グループで定めた企業理念と企業行動憲章を、社員一人ひとりが実践していくことが、企業の価値向上のみならず、社会の持続可能性（サステナビリティ）への貢献につながると考えています。今回は、サステナビリティについての学びを深める機会として、（株）クレイグ・コンサルティング代表取締役・小河光生氏をファシリテーターに迎え、グループ各社から異なる立場の6名の社員が活発な意見交換を行いました。



**可兒 Kani**

（株）ロッテ  
生産本部 資材部  
資材担当一課



**真鍋 Manabe**

ロッテ商事（株）  
営業本部 営業企画部  
経営企画担当



**藤堂 Toudou**

（株）ロッテアイス  
研究開発部 研究三課



**米岡** Yoneoka

(株) ロッテ  
マーケティング統括部  
第二商品企画部  
チョコ・ビス企画室  
ガーナブランドチーム



**飯田** Iida

(株) ロッテホールディングス  
経営戦略室 戦略担当



**グエン** Nguyen

(株) ロッテ  
グローバル戦略本部  
グローバルマーケティング部

## グループミッションと業務との関わり

**小河** 2016年、企業理念の中に新しくロッテグループミッションが制定されました。まずはグループミッションについて、皆さんが日々の仕事のなかでどう意識されているかをお聞かせいただけますか。

**企業理念**

**LOTTE Group Mission**  
【ミッション】

私たちはみなさまから愛され、信頼される、よりよい製品やサービスを提供し、世界中の人々の豊かなくらしに貢献します。

**LOTTE Values**  
【大事にすべき価値】

**User Oriented**  
消費者の立場になって考えること

**Originality**  
独創的なアイデアを探しつづけること

**Quality**  
すべてにわたって最上の品質を究めること





**米岡** 私はブランドマネージャーという立場で、グループミッションにある「みなさまから愛され、信頼される、よりよい」製品を提供し、そのブランドだけが持つ独自価値を醸成することを最優先に考え、日々の仕事に取り組んでいます。

**藤堂** 私も「愛され、信頼される」と「豊かな暮らしに貢献」という点を意識しています。「愛され、信頼される」というのは、おいしくてまた食べたくなる安心・安全な製品をお届けし続けるということ。「豊かな暮らしに貢献」は、お客様だけでなくサプライヤーさまも対象にしていると思います。私はアイスの研究開発の部署で、原料の選定や品質確認にも携わっていますが、原料を適正な価格で買うことが大事だと感じます。



**可兒** 藤堂さんが仰っていることに共感します。私はチョコレートなどの原料の調達、購買を担当していますが、安ければいいということではなく、適正な価格で不都合のないもの、おいしいものを届けるということを意識しています。

**藤堂** 極端に安いものには理由やリスクがありますし、サプライヤーさまに無理を強いても、結局あまり良い結果にならないように思います。

**可兒** そうですね。お客様はもちろんですが、サプライヤーさまからも「信頼される」ことを心がけたいです。

**飯田** 私が意識しているのも「信頼される」という部分です。グループ全体の管理や仕組みの整備を担当する部署に所属しているので、企業自体がどこから見てもきちんと信頼される会社でありたいと思っています。

**真鍋** 私は営業機能を担うロッテ商事で菓子部門の利益計画立案・管理や監査を行っていますが、いま力を入れているのがコンプライアンスや企業がバナンスに対する意識向上です。これも同じく「信頼される」につながる活動ですよ。

**ゲン** みなさんが仰っている通り、信頼は食品メーカーとして欠いてはならないものだと思います。私の日常業務でいえば「世界中の人々」も関係が深いです。グローバル戦略の部署にいますので、海外メーカーや海外の消費者にも対応します。だから、世界を意識しながら仕事するのは、私にとっては基本中の基本ですね。



## ロッテグループの目指す

### 「豊かな暮らし」への貢献とは

**小河** グループミッションの「豊かな暮らし」について、もう少し深くお聞きしたいと思います。「豊かな暮らし」とひと口に言っても、とても広い意味を持つと思うのですが、皆さんは具体的にはどのような暮らしだと思われませんか。

**可兒** 私の場合は、さきほどお話ししたように安全・良質な原料の調達が業務なので、「豊かな暮らし」というと、安全で良いものが日常的に買えるということですね。

**米岡** 私は、単純にお菓子というモノだけを提供するのではなく、召し上がって頂いた一人ひとりの方に、楽しい思い出や記憶に残る体験をお届けすることだと思っています。



**藤堂** そうですね。お菓子やアイスクリームはコミュニケーションツールでもあるので、人と人をつなげていくこともできます。楽しい思いを一緒に乗せていくことができれば、幸せな毎日をつくるパーツになるのではないかなと思います。

**小河** なるほど。お菓子を通じて、家族や友人とこんなときにこんな場所で食べた、といった思い出を共有・提供できる。そんな価値もつくり出せるわけですね。

**真鍋** 営業部門のミッションは、発売する商品にどのような付加価値をつけて、お客様に届けるかということです。お客様が商品を手に取り食べていただかなければ、皆さんもおっしゃるようなプラスアルファの価値も生まれません。そういう意味ではお客さまが実際に商品を手取る売場などの、食べていただくまでの過程も重要なと感じました。

**飯田** 私が思ったのは、まず皆さんと同じく、製品・サービスを供した人に、どんな価値を提供できるかということです。それは時代とともに変わると思います。ロッテの創業当時はまだ戦後で物資が豊かでなく、甘いものや栄養を提供すること自体が価値であり「豊かな暮らし」への貢献だったと思います。今は時代が変わり、安心・安全に加えて、ワクワク感や健康などの付加価値を届けるのが「豊かな暮らし」への貢献になりますよね。あとは、藤堂さんが話されたようにサプライヤーさまに適正な利益をもたらすこととか、社員の生活を保障することなど、そういった企業活動そのものがステークホルダーの「豊かな暮らし」へ貢献するという意味もあるかと思っています。





**小河** 「豊かな暮らし」に貢献するために、これから強化していきたい部分がありますか。



**米岡** 日本に限らず、仕事が少ないところや貧しいところなどの雇用を創出できるような活動です。プラントでもファームでもいいと思いますが、川上の強化がもっと必要だという気がします。ロッテにとっては人材確保につながりますし、企業と社会双方のWin-Winになる取り組みではないでしょうか。

**可兒** 私も、生産者の支援という点でできることはあるように思います。実は、私が調達している原料も、利益が取れなくて辞めてしまう生産者が多く、価格も暴騰しているんです。ロッテがそうした方に手助けや協力をするのは可能だと考えます。

**藤堂** 私は、いまだ経験したことのないおいしさ、機能をもった商品をこれからもお客様にお届けできるように、常に新しいことにチャレンジしていきたいです。

**飯田** 製品・サービスについては、おいしさと健康を掛けあわせて付加価値を提供していくべきだと思います。これから日本だけでなく世界中で高齢化が進み、社会のサステナビリティが危うくなってくると考えられます。この社会課題に対して、おいしさと健康という価値を提供することが「世界中の人々の豊かなくらしに貢献する」ためにできることの1つだと思います。また、その製品やサービスを生み出す企業活動そのものにKPIを設定し、PDCAサイクルを回していくことも大切です。従業員の働きやすさなども目に見えるよう、数値化し、開示していく必要があるのではないのでしょうか。



**真鍋** 私も労働環境はますます重視されると思います。社員のワーク・ライフ・バランスを保てる環境づくりをすることで、私たち働く人間が積極的に活躍したいと思える会社をつくっていかれると思います。

**小河** 本日はみなさんの話をお聞きして、さまざまなステークホルダーを見据えてお仕事をなさっている印象を強く受けました。今後に向けた取り組みについても、サステナビリティを意識した素晴らしい施策が数多く挙げられたと思います。本日はありがとうございました。



座談会ファシリテーター

(株) クレイグ・コンサルティング 代表取締役

小河 光生

早稲田大学卒業後、大手自動車関連メーカーを経て、ピッツバーグ大学経営学修士（MBA）取得。三和総合研究所、PwCコンサルティングに在籍し、2004年に独立。株式会社クレイグ・コンサルティングを設立。

健康を、おいしく。

# ロツテノベーション!



昨今、企業が果たすべき大きな責任として、本業を通じて社会の期待や要請に応え、社会課題の解決に貢献していくことが求められています。

食の分野においては、健康に対する意識向上や少子高齢化、食生活の多様化といった社会変化を背景に、「おいしい」だけでなく「体にいい」ものを「手軽に」摂りたいというニーズが高まっています。菓子メーカーであるロツテも、こうしたニーズに応えるための研究・製品開発に力を入れています。時には他分野の企業とも協働し、ロツテが大切にしてきたおいしさを軸に、食における新しい価値を生み出すイノベーション—「ロツテノベーション」を積極的に推進しています。



体にいいものを手軽においしく摂りたい!

# ロツテノベーション!

# ガムノベーション!

CASE  
01

単なる嗜好品を超えて  
歯ぐきの健康からみんなの生活を豊かに。

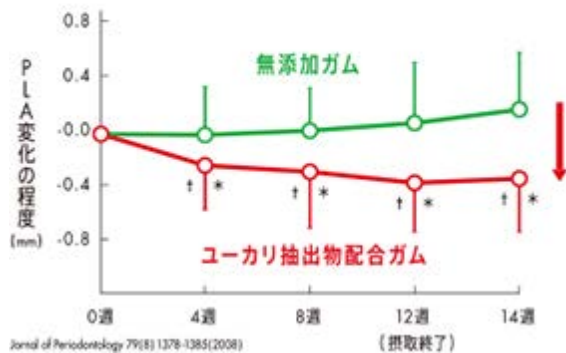


「歯ぐき」を健康に保つクホのガム

**キシリトール  
オーラテクトガム**

ロッテはガムを中心として成長してきた菓子メーカーとして、ガムのさまざまな特長に注目し、単なる嗜好品としてだけではなく付加価値をもたせる研究に力を入れてきました。そうした成果の一つとして、歯垢の生成を抑え、歯ぐきを健康に保つユーカリ抽出物を配合した「キシリトールオーラテクトガム」を開発。「嗜好品としてのガム」に、「歯ぐきの健康を保つ」という新たな機能を付加し、みなさんの毎日の生活をより豊かにしていきたいと考えています。

歯垢粘着量の変化



「キシリトールオーラテクトガム」を商品化する際に、最も苦労したのは「機能性」と「おいしさ」の両立です。いくら歯ぐきの健康を保つとしても、おいしくなければ繰り返し召しあがっていただけません。この点には菓子メーカーとして徹底的にこだわり、ユーカリ抽出物の苦味を抑える技術を開発することで、「おいしさ」を損なうことなく必要な量を入れることができました。今後も世の中の役に立つ商品を生み出し、それをゴールとせず、さらにまた新しいものを作りたいと考えています。



## チョコノベーション!

CASE  
02

乳酸菌を“生きたままいつでもどこでも摂れる”  
という新しい価値を。

消費者の摂りたい成分として、上位にあがる「乳酸菌」。ロッテではお菓子と乳酸菌を組み合わせることで、新しい価値を提供することができないか、検討を続けてまいりました。その結果生まれたのが「スイーツデイズ 乳酸菌ショコラ」シリーズです。乳酸菌をチョコレートで生きたまま包むロッテ独自の製法により、常温で持ち運べて、時間や場所を選ばず気軽に食べることができます。これによって、乳酸菌を“生きたままいつでもどこでも摂れる”という新しい価値を社会に提供することができました。

これからも、既成概念にとらわれず、消費者のみなさまの目線に立った商品を生み出すための研究を続けていきたいと思えます。



乳酸菌はチョコで摂る時代へ

**スイーツデイズ  
乳酸菌ショコラ**





## SUSTAINABILITY HIGHLIGHT サステナビリティ・ハイライト 2016

ロッテグループはサステナビリティ・ポリシーに基づき、持続可能な社会の実現に向けたさまざまな活動に取り組んでいます。ここでは、2015年4月から2016年3月までに取り組んだ活動をご紹介します。

2015  
6月

### 浦和工場 新工場が操業開始

「爽」「クーリッシュ」「モナ王」「雪見だいふく」などを生産するアイスの新工場として、浦和第6工場の操業を開始しました。浦和第6工場は、「周囲の住民、環境に優しい都市型工場」を目指し、工場内設備には環境に優しい技術を積極的に取り入れたほか、トラック停車場に防音性を向上させる設備を採用するなど周辺の住宅地にも配慮した工場となっています。これらの結果、建築物の環境性能を評価・格付けする「CASBEE」（建築環境総合性能評価システム）において「Aランク（大変良い）」の評価を得ることができました。

※さいたま市内にある浦和工場は、「CASBEEさいたま」による評価となります。

※ロッテ浦和第6工場は「CASBEEさいたま」において初めてのAランク評価の工場となります。



2015  
7月

## 品質保証部活動開始



ロッテではこれまで、各工場・各事業所がそれぞれの基準を定め、製品の安全・安心や品質の向上に努めてきましたが、全体でのさらなる品質保証の徹底と強化を推進するための組織として、品質保証部を設置しました。“品質”に関する専門部署として、独立した立場で品質管理基準の統一とその管理、法令を順守した適切な表示ルール管理、品質保証に関する情報の社内発信などを推進していきます。

2015  
9月

## 「ハート・リングフォーラム2015, autumn」に協賛



“噛むこと”が体や心に与える影響を研究し、その可能性を明らかにする「噛むこと研究室」の活動の一環として、朝日新聞社とNPO法人ハート・リング運動主催の「ハート・リングフォーラム2015, autumn」に協賛しました。NPO法人ハート・リング運動は「認知症にやさしい社会を。」をスローガンに、認知症に対する正しい知識を社会に伝えるイベントなどを実施している団体で、ロッテは2014年から協賛しています。フォーラム当日は、生き生きと暮らすための「噛むこと、食べること」の重要性をテーマとした講演のほか、認知症当事者や専門家を交えたパネルディスカッションが行われ、好評のうちに終了しました。



2016

1月

## グループ横断型の社内表彰制度 「ロッテアワード」開始



これまでロッテグループでは、会社や事業ごとに優秀な取り組みを表彰してきましたが、2016年からはグループ横断型の表彰制度「ロッテアワード」を実施しています。「ロッテアワード」では毎年1回、企業理念のロッテバリューである「ユーザーオリエンテッド」「オリジナリティ」「クオリティ」を体現している事例を評価し、優れた事例を表彰します。これにより、社員一人ひとりの企業理念への理解とその体現を促進することで、ロッテグループミッションの実現を目指します。

2016

3月

## いきいき活躍推進室を設置



「ダイバーシティ（多様性）を推進し、違いを受け入れ活かす強い組織をつくること」「ロッテグループ従業員一人ひとりの働きがいを高めること」「働きやすい職場環境や制度を整えること」を目的として、ロッテホールディングス内に『いきいき活躍推進室』を設置しました。まずは、職場で働く従業員の意識をモニタリングし、いきいきと活躍できる環境づくりに取り組んでいきます。



ガイダンスの様子





## 品質・安全

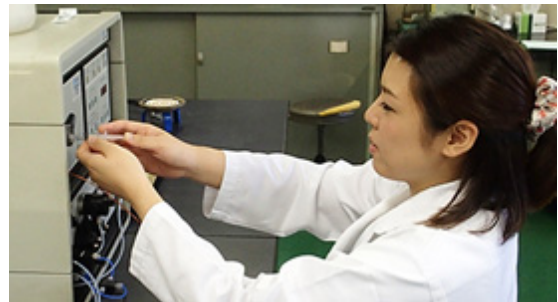
安全で安心できる高品質の製品・サービスを提供します。

### 品質への取り組み

#### 基本的な考え方

ロッテグループは、製品が安全・安心で高品質であることはもちろん、その上で「楽しさ」「おいしさ」「やすらぎ」の付加価値が感じられることも大切な品質基準の一つと考え、製品づくりに取り組んでいます。

こうした考えのもと、「みなさまから愛され、信頼される、よりよい製品やサービスを提供し、世界中の豊かな暮らしに貢献します」というロッテグループミッションの実現に向けて、企画・開発から、生産・輸送、販売に至るすべての段階でお客様にご満足いただける品質を実現するための取り組みを行っています。



#### 品質・安全管理

ロッテは、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001（※）および食品製造時の衛生管理手法HACCP（※※）に則り、原材料受入れから生産、出荷に至るまでの各工程において厳重な品質管理を行っています。また環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001（※※※）に基づき、環境への配慮も行っています。

とりわけ、生産段階における品質管理の徹底には力を入れています。各工場の生産技術課が中心となって品質・衛生状況を管理・監督しており、主要な生産品目ごとに品質方針を定め、製品の安全・安心・高品質の確保に努めています。

また、お客様から寄せられるお問い合わせやご意見のうち、品質や安全性に関するものについては、以前から各工場の生産技術課と中央研究所の品質保証担当が内容を検討し、適切に対応し、問題があった場合には再発防止を図ることで、品質・安全性の維持・向上に努めていましたが、2015年7月に、ロッテにおける食の安全・安心を、統一した見解に基づき包括的に推進する部署として、品質保証部が設立されました。これに伴い中央研究所の品質保証担当が同部に移管されました。移管に伴う各種の対応については、各工場、中央研究所、品質保証部が連携し、適切に実施しています。



- ※ISO（アイエスオー）9001：組織が品質マネジメントシステムを確立、実施、維持し、その有効性を継続的に改善するための国際的な認証規格
- ※※HACCP（ハセップまたはハサップ）：食品の原料の受入れから製造・出荷までのすべての工程において、危害の発生を防止するための重要ポイントを継続的に監視・記録する衛生管理手法
- ※※※ISO（アイエスオー）14001：組織が企業活動を行う際、環境に及ぼす影響を最小限に留める事を目的に定められた国際的な認証規格

## ISO9001・HACCP認証取得状況

浦和・狭山・九州・滋賀工場は、2000年にISO9001およびISO14001の認証を取得しています。  
 また、浦和・九州・滋賀・神戸工場では、アイスクリームの製造に関し、HACCP認証を取得しています。これは、アイスクリームを含む乳製品が、食品の製造・加工の工程を厚生労働省が承認する総合衛生管理製造過程承認制度の対象食品であることによるものです。

## 衛生管理

ロッテの各工場では、製品の安全・安心を確保するために、徹底した衛生管理を行っています。

### 1. 異物混入対策

工場では商品への異物混入防止施策を重点的に実施しています。  
 生産現場への入室時には、手洗い・アルコール消毒はもちろん、空気の噴射による「エアシャワー」、掃除機のように吸い取る「吸引式毛髪・塵埃除去機」、「粘着ローラーがけ」の3重の工程を経て、衣服に付着した毛髪やホコリなどの異物を取り除いています。  
 また、製造工程においては、金属検出器、エックス線検査装置、画像処理装置など複数の異物検出装置を用いて商品の安全性を確保しています。



エアシャワー



吸引式毛髪・塵埃除去機



粘着ローラーがけ

### 2. 衛生点検の実施

工場の衛生管理状況の確認、工場間の情報共有、問題発生の予防などを目的として衛生点検を実施しています。  
 衛生点検での指摘事項については直ちに改善し、次回点検時に改善が継続されているのを再確認しています。

ロッテの工場では、主に3つの衛生点検を実施しています。

1. 工場の生産現場の衛生管理担当による衛生点検
2. 工場長・部署長による衛生点検
3. 本社員による衛生点検

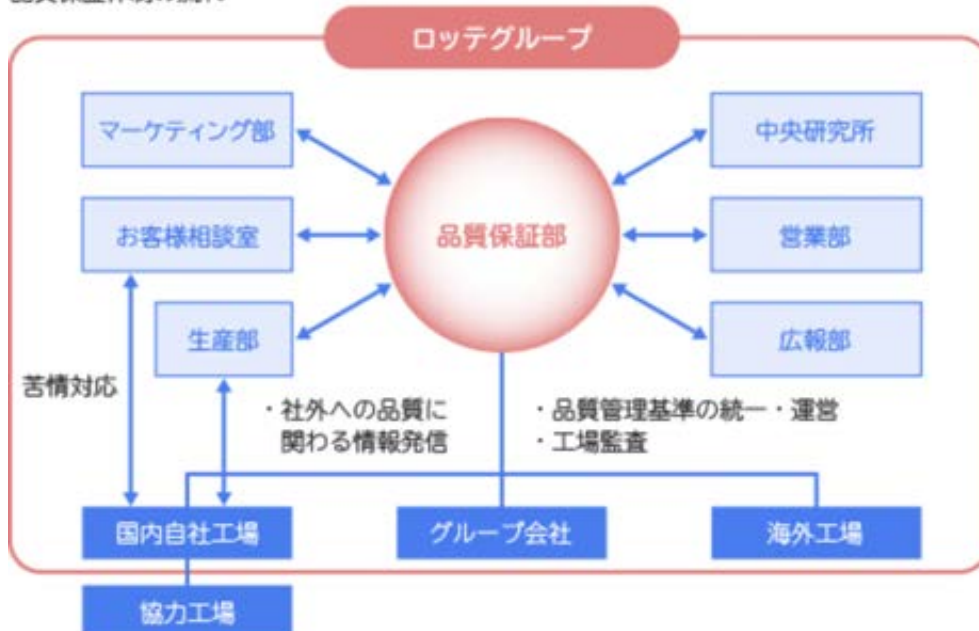


衛生点検の様子

## 品質管理を支える社内ネットワークの構築

ロッテは、発売されるそれぞれの商品について、企画開発の段階から「市場」「製品」「検査規格」「製造関連」などに情報を分類・記録し、イントラネットを通じて、研究、開発、工場、営業、宣伝などの各部門で共有する体制を整えています。この情報をもとに複数の部門が何重ものチェックを行うことで、品質管理の厳密性を高めています。

品質保証体制の流れ



## ユニバーサルデザインへの取り組み

容器包装には、本来、「内容を伝える」「品質を守る」という2つの役割があります。ロッテの容器包装は、(1) 中に入っている商品がわかりやすいこと、(2) お客様に届くまで品質を保持できること、(3) 楽しさが伝わること、の3点を基準としています。

さらに、すべての方々にとって使いやすく、わかりやすい容器包装・表示をめざし、ユニバーサルデザインの観点から開発に取り組んでいます。2014年度には、開発に当たって配慮すべきことをまとめた「ロッテ ユニバーサルデザイン基準」を制定しました。「ひとにやさしいパッケージ」を包装設計方針として掲げ、より良い包装・デザイン開発を進めています。

## 包装設計方針 ひとにやさしいパッケージ

### ■ 基準1 快適に開けやすいパッケージ

開け方がわかりやすく、開けやすいパッケージ

### ■ 基準2 わかりやすい表示

表示がわかりやすく、見やすい

### ■ 基準3 どのような商品であるかが正しく伝わるデザイン

過度な誇張や演出を抑え、誤解なく商品内容が伝わる表現

### ■ 基準4 安全と安心に配慮

商品を扱う時も安全性が高いこと

### ■ 基準5 捨てやすい工夫

使い終わったパッケージをつぶしやすくする

## ユニバーサルデザインフォント使用

「ガーナ」「アーモンドチョコレート」「カスタードケーキ」など

裏面表示の読みやすさ向上と誤読防止のために、書体にさまざまな工夫が施されたユニバーサルデザインフォントを、「ガーナ」「アーモンドチョコレート」「カスタードケーキ」などの商品包装で採用しています。



ユニバーサルデザインフォントは、文字としての美しさを損なわずに、より小さなサイズでも「文字のかたちがわかりやすく」「読みまちがえにくく」「文章が読みやすい」ことをめざして、工夫し開発された書体です。

一般的な書体（新ゴ）とユニバーサルデザインフォント（UD新ゴ）の比較例



→ [株式会社モリサワのホームページより転用 \(http://www.morisawa.co.jp/fonts/udfont/\)](http://www.morisawa.co.jp/fonts/udfont/)

ユニバーサルデザインへの取り組み

「チョコパイ」東京限定版

封印シール部の端にノリがない部分をつくり、簡単に  
つまめて開けやすいように改善しました。



「雪見だいふく」

列ごとにミシン目のついた新容器を開発。フィルムごと分割できるようにすることで、すぐに食べない分  
をより衛生的に保管できるようになりました。



「クーリッシュ」

キャップの直径を大きくし、握りやすさ、開けやすさ  
を向上。  
これまでの75%程度の力で開封できるようになりました。







# コンプライアンス

正直な企業であり続けます。

## コンプライアンス確保への取り組み

### 基本的な考え方

ロッテグループでは、法令を遵守することはもちろん、倫理的に正しく、正直な行動を実践する企業であることを基本としています。

従業員全員が共通の行動基準に基づいて業務を執行できるよう、2008年にはその指針となる行動憲章を策定しました。この行動憲章をロッテグループ全体に浸透させ、グループ全体でのコンプライアンス意識の向上を図るために、全社員にコーポレートメッセージ、企業理念、行動憲章をまとめた小冊子を配布し、さらにパネル化して各部署に掲示しています。

→ [企業理念、行動憲章はこちら](#)

### 社内通報システムの設置

従業員が、法令違反などの不正行為や、パワー・ハラスメントなどの倫理違反をはじめとするコンプライアンス上の問題を発見した際の相談窓口として、法令違反相談窓口「クリーンライン」を2006年より運営しています。

この制度は、ロッテグループの従業員（正社員、契約社員、派遣社員、嘱託社員、パート・アルバイト）が法令違反に気づいた際に、社内担当窓口の手紙や電子メール、電話で直接相談できる仕組みです。相談内容については、事実を調査した上で是正措置を取り、その後、改善したかどうかを確認しています。また、対応に当たっては通報者のプライバシー保護に努めるとともに、通報による不利益が発生しないよう細心の注意を払っています。

	2013年度	2014年度	2015年度
重大な不正行為	なし	なし	なし

このほか、職場でのセクシャル・ハラスメントを防止するため、1999年に専用の相談窓口「ロッテグループセクハラ相談窓口」を設置し、電話での相談を受け付けています。

## ❖ 情報の適切な管理・運用

ロッテグループは、セキュリティポリシーに基づき、「情報セキュリティマネジメント委員会」を設置して、お客様や従業員の個人情報、技術に関わる機密情報を保護・管理しています。情報セキュリティマネジメント委員会は、従業員が情報や情報システムに関する方針を遵守しているかどうかを監視する役割も担っています。

	2013年度	2014年度	2015年度
違反行為	なし	なし	なし

## ❖ コンプライアンス研修の実施

ロッテグループは、法令や社会規範を遵守した、公正で透明な取引を徹底するために、従業員を対象としたコンプライアンス研修を行っています。2015年度は、グループ会社の新入社員を対象に、DVDなどの教材を使用した研修を実施しました。今後も従業員を対象に、計画的にコンプライアンス研修を継続していきます。

## ❖ 表示関連法規・基準の遵守／商品表示・広告宣伝への配慮

ロッテグループは、商品パッケージの表示や広告宣伝活動に当たって、「お客様に信頼される表示・表現」をめざしています。関係法令を遵守することはもちろん、安全性・人権問題・環境問題・社会的倫理性などに留意しながら、適切な表示・表現となるよう細心の注意を払っています。

## ❖ 知的財産の保護（発明補償制度の導入）

ロッテグループでは、自社の知的財産を重要な資産であると認識し、適切に使用するとともに、他者の知的財産についても、侵害することがないように細心の注意を払っています。また、社員の発明を助長奨励し、社業の発展に資するために、社内の発明に対する「発明補償制度」を設けています。



## 情報開示

情報をお伝えします。

### 製品表示での取り組み

#### 食品情報の表示

ロッテは、食品表示法で表示が義務づけられている情報はもちろんのこと、お客様の関心が高い食品安全に関する情報や安心してお召し上がりいただくための注意事項を商品に記載するよう努めています。

中でもアレルギー表示に関しては、重篤度・症例数の多さから法令で表示が義務づけられている特定原材料7品目に加え、過去に一定の頻度で健康被害が見られるものとして表示が推奨されている20品目について含有の有無などを記載し、アレルギーのある方にも安心してお召し上がりいただけるよう配慮しています。表示方法についても、よりわかりやすくなるよう随時変更しています。

- 表示が義務づけられている7品目  
卵、乳、小麦、えび、かに、そば、落花生（ピーナッツ）
- 表示が推奨されている20品目  
あわび、いか、いくら、オレンジ、カシューナッツ、キウイフルーツ、牛肉、くるみ、ごま、さけ、さば、大豆、鶏肉、バナナ、豚肉、まつたけ、もも、やまいも、りんご、ゼラチン

※2015年4月に食品衛生法、JAS法、健康増進法の表示に関する部分を集めて「食品表示法」が施行されました。

#### わかりやすい表示例



アレルギー情報表示欄

### お客様とのコミュニケーション

#### 基本的な考え方

お客様にご満足いただける商品やサービスを提供し続けるためには、お客様の声に耳を傾け、お客様との対話をより深めていく取り組みを継続していくことが重要です。

こうした考えのもと、ロッテグループはお客様から寄せられたご意見・ご要望を真摯に受け止め、迅速かつ適切な対応に努めています。  
 また、より多くのお客様にロッテの商品を知っていただき、安心して最もおいしい状態でお召し上がりいただくために、商品に関する情報発信も積極的に行っています。

## ❖ お客様相談室の設置

ロッテは、お客様からのお問い合わせやご相談にお応えする窓口として、1994年よりお客様相談室を設置しています。

電話や郵便を通じてお客様相談室に寄せられたご意見・ご要望は、社内関連部署で共有し、製品の開発・改良、サービスの改善に役立てています。また、お客様からよくいただくご質問とその回答は、ホームページ上で商品分類別に掲載しています。

	2013年度	2014年度	2015年度
お問い合わせ件数	約30,000件	約30,000件	約30,000件

今後も、お客様のご意見・ご要望を真摯に受け止め、お客様に喜んでいただける商品づくりに努めていきます。

### お客様対応のフロー図



※お問い合わせ内容が専門的な場合は、お客様相談室から社内各部署へ調査を依頼し、お客様相談室より回答・対応しています。

## ❖ お客様への情報発信

お菓子を通じて、暮らしをいっそう楽しく、豊かにしていただくために、ロッテではお菓子に関するバラエティに富んだ情報を発信しています。お客様に向けては、ロッテホームページにおいて、商品の紹介や商品に関するQ&A、お菓子を使ったレシピ、お菓子に関する豆知識など、多彩な情報を掲載しています。また社外広報誌「Shall we Lotte」を年4回発行し、当社と当社の商品をさまざまな形で紹介しています。  
 また、チョコレート事業に進出して満50年の節目を迎えた2013年2月から、チョコレートを最も愛する会社として

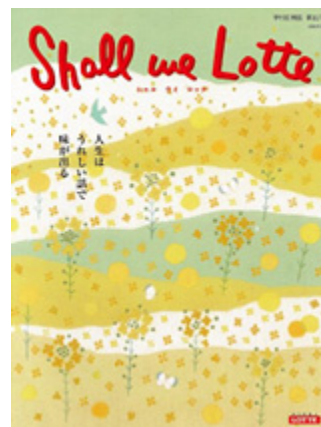


EVERYDAY, Choco-motion!



「EVERYDAY, Choco-motion! チョコレートに、もっとおいしいワクワクを。」というスローガンを掲げ、チョコレートが「毎日の生活の中でもっと身近な存在になること」をめざす活動を続けています。その一環として、良質の商品づくりを追求し、日本の文化に合わせた形でチョコレートを楽しむ習慣を、今までにない発想や方法で皆様にご提案しています。例えば、YouTube内にブランドチャンネル「EVERYDAY, Choco-motion! TV」を設置し、商品やイベント・キャンペーン情報に関連した動画コンテンツや、クッキングやレポートなどチョコにまつわるさまざまなジャンルの映像を紹介しています。

このほか、流通業の皆様向けには、お客様からご質問があった場合に役立てていただけるよう、パンフレット「ロッテプレス」を発行しています。当社の商品を販売いただく皆様へもさまざまな情報を発信することによって、店頭でもお客様にロッテ商品の正しい情報を得ていただけるように努めています。



『Shall we Lotte』  
(2016年春号)

### お菓子を通じたコミュニケーション

お菓子を日常のコミュニケーションに活かしていただけるように、季節の行事に合わせたデザインの商品を開発し、発売しています。例えば、イースター、ハロウィンなどの時期には複数の商品のパッケージを共通のデザインにして展開しているほか、受験シーズンには、受験生を応援するデザインを「コアラのマーチ」や「トッパ（トッポ）」「クランキー」など多彩な商品で展開。また販売店舗の皆様と協力して、店頭での季節感の演出にも継続して取り組んでいます。

さらに、お菓子を通じて感謝や出会いのメッセージを発信いただける商品も提供しています。一例が、母の日にカーネーションと赤いガーナをプレゼントしようという「母の日ガーナ」の提案です。『ガーナミルク』では、パッケージに白いスペースを設けて、メッセージを書き込めるデザインの商品も販売しています。

これからも、お菓子を通じてコミュニケーションを深めていただけるような多様な商品を開発していきます。



### お菓子の世界を広げるレシピを紹介

当社のお菓子をさらに楽しんでいただけるよう、ホームページに「手づくりおかしレシピ」のページを設け、アイスクリーム、チョコレート、ビスケットを組み合わせた多彩なアレンジレシピを紹介しています。中でもガーナミルクの「手づくりスイーツレシピ」は、バレンタインデーシーズンに多くのお客様に活用いただいています。



「ロングタルティーンとWガーナのミートソースドリア」



「アメリカンフットボールチアコアラ」

(2016年12月現在のレシピです)

## お菓子の新しい可能性に挑戦

おいしいチョコレートを使った新しいメニュー開発にも取り組んでいます。この一環として、チョコレートを調味料としても普及させ、新たな食シーンを創造する取り組みを「チョコごはん」と名づけて展開しています。

例えば、バレンタインデーシーズンには、麺屋武蔵グループでつけ麺の「つけガーナ」など、専門家の協力を得て開発したメニューを提供していただきました。



## モンドセレクションで連続最高金賞を受賞

2016年5月、「世界食品オリンピック」とも形容される権威ある食品品評会「モンドセレクション」において、当社の「キシリトール オーラテクトガム<クリアミント>ファミリーボトル」が健康食品部門で最高金賞を、「スイーツデイズ 乳酸菌ショコラ」が食品全般部門で金賞を受賞しました。

最上の品質を究めることを企業理念に掲げるロッテグループの姿勢が評価されたものと考えています。



## 個人情報の保護

ロッテでは、お客様の個人情報について、適正な方法で取得するとともに、「個人情報の保護に関する法律」などを遵守し、適正な保護・維持・管理を徹底しています。

具体的には、個人情報に関する管理責任者を置き、個人情報データベースなどへのアクセス権を限定して、社内においても不正な利用がなされないように管理しています。また外部への不正流出、紛失、破壊、改ざんを防止するために、厳重なセキュリティ対策を実施しています。

	2013年度	2014年度	2015年度
個人情報の紛失、漏洩などの発生事例	0件	0件	0件

個人情報保護に関する当社の姿勢は、ホームページにおいて「プライバシーポリシー」「ソーシャルメディアポリシー」として公開しています。



## 従業員

働く人を大切にします。

### 従業員への取り組み

#### 基本的な考え方

企業活動を支えるのは従業員です。ロッテは、従業員一人ひとりが、自分らしく前向きにいきいきと働くことができる職場環境づくりと、自己実現できる企業風土の整備に力を入れています。

また、自ら成長しようと努力する従業員の能力向上をサポートするため、教育・研修体制の充実を図っています。

#### 人事ポリシー（基本方針）

育成	<p>チャレンジ精神を尊重し、成長する機会を提供する → 何事にもチャレンジし、最後までやり抜く人材には、成長する機会を提供する</p>
	<p>自律できる強い個人の育成を目指す → 自分で考え責任を持って行動する人材を育成するため、教育や研修、ジョブローテーションの充実により、キャリア開発を支援する</p>
組織	<p>組織力・チームワークを重視する → 組織として最高のパフォーマンスを発揮するため、チームワーク、コミュニケーション、リーダーシップを大切にす</p>
評価 処遇	<p>公正な評価・処遇の実現を目指す → 評価・処遇の仕組みをオープンにすることで、公平感、納得感を高める</p>
	<p>能力を十分に発揮し、成果を上げた社員を登用する → 求める役割を明確にし、プロセスと貢献（発揮能力・成果）に応じた報酬を与えることで、従業員のモチベーション向上に繋げる</p>
環境	<p>ダイバーシティを推進する → 従業員の個性や価値観を尊敬・尊重し、国籍・年齢・性別・ライフスタイルなどの違いにかかわらず、多様な人材がいきいきと活躍できる環境をつくる</p>
	<p>職場環境の整備を行う → 従業員が心身ともに健康で安全に働ける職場環境を構築する</p>

## 人事制度

ロッテは、人格や個性を尊重し、人種、性別、年齢、障がいなどによる差別のない人物本位の雇用・登用に努めるとともに、成果主義（目標管理制度など）に基づく公正な人事処遇を実践しています。

- 役割（仕事・責任）に見合った処遇
- 成果（プロセス・結果）に応じた報酬
- 公平・公正な成果・能力の見極め

## 求める人材像

従業員の雇用に当たっては、「お客様を第一に考え、夢ふくらむ商品やサービスを提供する」という永遠のポリシーを飛躍させるために、「多様性」「自主性」「創造力」「情熱」「ビジョン」を持ち続ける人材を採用し、育成に取り組んでいます。

- 多様性 : 様々な価値観を融合させ、新たなものを作り出す人  
自主性 : 自分で考え責任を持って行動する人  
創造力 : 固定観念にとらわれず様々な視点に立って、新しいアイデアを追及する人  
情熱 : 何事にも挑戦し、最後までやり抜く人  
ビジョン : 将来を見通して何をしなければいけないのかを考える人

### 2015年度の雇用状況（ロッテグループ：2016年3月現在）

	男性	女性	合計
従業員数（人）	2,898	1,274	4,172
平均年齢（歳）	39.4	35.7	38.2
新入社員数（人）	81	61	142

## 教育・研修制度

ロッテは、一人ひとりが個性や能力を最大限に発揮し、いきいきと働くことを目的として、さまざまな教育プログラムや研修制度を整備し、主体的に自分自身の成長に向けた努力を惜しみなく支援しています。

社員向けに、部門別の専門研修やOJT、年次別研修といった仕事に関するスキルアップを支援するものから、語学力強化研修（英語、韓国語、TOEICなど）、自己選択型のチャレンジスクールなど自己啓発を支援するものまで幅広く整備し、それぞれの目的や目標に応じて参加・選択できるようにしています。

また、グローバル人材の育成を目的とした「海外研修制度」も設置しています。この研修では、応募者の中から選抜された研修生が、国内研修で経営感覚と語学を修得した後、現地研修で各国の事業環境や市場の研究に取り組めます。

なお、こうした教育・研修制度は、より効果的な成果を得るために適宜見直し、改善や拡充を図っています。



## 社員研修体系

	基幹	選抜	部門別	OJT	自己啓発
管理職	新任マネージャー研修 新任基幹職研修	グローバルリーダー研修 (選抜型)	各部門の専門研修	OJT制度	
	チャレンジスクール (自主参加型)	若手社員選抜海外研修	・菓子営業 ・アイス営業 ・商品開発 ・中央研究所 ・工場 etc	(1~3年次) 職場内で業務を通じての育成	・英語研修 ・韓国語研修 ・TOEIC ・通信教育 ・講演
一般社員	基礎形成プログラム ・1~3年次研修 ・新入社員研修	グローバルアカデミー (選抜型)			

### 専門スキル向上を支援する認定制度

ロッテでは2005年から、技術、専門知識の向上と職場の活性化を目的として、各工場の技能、専門知識が優れている社員を「マイスター」として認定する制度を設けています。

マイスターは、年1回、工場責任者の推薦に基づき、認定委員会の審査で認定され、マイスターマークの使用を認められます。日常業務の改善、後輩育成などに積極的に取り組むことで、周囲の社員の手本となることが期待されています。

### ダイバーシティの推進

ロッテは、ダイバーシティ（多様性）を尊重し、さまざまな個性を持った従業員一人ひとりが活躍できる場の拡大に努めています。2016年にダイバーシティを推進する部署「いきいき活躍推進室」を設置しました。まずは職場で働く従業員の意識をモニタリングし、「働きがい」と「働きやすさ」の両面から活躍を後押しする環境を整えていきます。

#### イスラム教徒（ムスリム）の従業員が働きやすいように配慮

インドネシアは国民の8割近くがイスラム教徒（ムスリム）といわれており、現地のグループ会社・ロッテインドネシア社のブカシ工場では、ムスリムの従業員が働きやすいような環境づくりに取り組んでいます。教義に定められている一日5回のお祈りのうち、正午と午後のお祈りの時間が操業時間と重なることから、正午はラインを完全に停止して食事とお祈りの両方の時間がとれるようにしているほか、午後も交代でお祈りができるよう、シフト上の配慮をしています。また、工場内には礼拝所を設けています。



工場内に設けている礼拝堂

これに加えて、ケータリング会社と契約し、社員食堂のメニュー全てをハラール（※）対応のものとしています。

※ハラール：イスラムの教義に照らし合わせて合法であるもの



社員食堂

## ❖ 従業員の健康管理

ロッテは、従業員が心身ともに健康でいきいきと働けるよう、従業員の健康づくりに積極的に取り組んでいます。

法定健診のほか、人間ドックやがんPET検査、産業医による保健指導といった保健サービスを整備しています。よりきめ細かいケアを受けられるよう、今後もサービスの充実を図っています。

## ❖ ライフワークバランスの確保

ロッテは、一人ひとりが、仕事と生活を両立して公私ともに充実した日々が送れるよう、ライフワークバランスに配慮した制度の拡充に努めています。

その一環として、社員に対し週1回のノー残業デー設置により長時間労働の抑制を図っているほか、法定以上の日数を取得できる産前産後休暇や育児休業の設定、また、育児・介護休業あるいは時短勤務（勤務時間の短縮）の取得促進に取り組んでいます。

こうした取り組みが認められ、2007年には株式会社ロッテが次世代育成支援対策推進法（※）に基づく「子育てサポート企業」として「くるみん認定」を受けています。

従業員それぞれの事情に合わせた勤務形態を選択できるよう、今後もさまざまな施策の導入や充実を検討していきます。

※次世代育成支援対策推進法：次代の社会を担う子どもたちの健全な育成を支援する法律。同法に基づく行動計画で定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業は厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けることができる。



## ❖ 従業員のモチベーション向上

ロッテは企業理念の浸透とそれに基づいた行動を促進し、従業員一人ひとりが意識や行動力を高め、ロッテグループミッションである「世界中の人々の豊かな生活に貢献する」ことの実現を目指します。下記の取り組みなどを通じて、全従業員への企業理念の浸透とモチベーション維持・向上を図っています。

### 社内表彰「ロッテアワード」を開始

2016年1月よりロッテグループ横断型の社内表彰として「ロッテアワード」を開始しました。

毎年1回、企業理念のロッテバリューである「ユーザーオリエンテッド」「オリジナリティ」「クオリティ」を体現している事例を評価し、優れた事例を表彰します。日頃の業務を通じて、企業理念への理解とその体現を促進するとともに、従業員のモチベーションアップを図ります。



## 環境

環境問題を重視しています。

環境保全への姿勢を「環境方針」に定めるとともに、ISO14001に基づく環境経営を推進しています。

### 環境方針

ロッテの事業は、自然の恩恵を受けて成長してきました。だからこそ私たちは、自然とともに生きる企業であることを自任し、地球環境を守る取り組みを続けています。そうすることが、永遠に親しまれる企業となることにつながると考えています。

この姿勢を表明するものとして、2000年に、「ロッテの環境方針」を定めました。この方針に基づき、製造時はもちろん、製品開発や物流など事業活動の全段階において、環境保全に取り組んでいきます。

### ロッテの環境方針 (2000年5月10日策定)

#### ■ 環境理念

株式会社ロッテは地球環境の保全が地球に存在する全ての生命の存続に係わる最重要課題として捉え、人類も地球社会の一員であることを深く認識し、地球環境の継続的な改善に努力して、永遠に「お口の恋人ロッテ」として親しまれる会社であることを目指します。

#### ■ 基本方針

地球環境の保全を第一に、自然資源の有効活用、自然との共生に努め、以下の方針に基づき環境対策を推進する。

企業活動が地球環境に及ぼす影響を把握し、環境負荷を考慮した「健康で夢のある商品」を提供する企業活動を行う。

環境関連法規を遵守するとともに、自主管理基準を制定して環境保全を推進する。

環境目的・環境目標を定め、継続的な環境に対する改善と汚染の予防に努める。

環境教育・社内広報活動により、社員の環境問題に関する意識の向上を図る。

内部環境監査を実施し継続的に環境保全活動を改善する。

環境方針は要請に応じ一般に公開する。

 環境への取り組み

---

▶ 環境マネジメント

---

▶ 省エネ活動の取り組み

---

▶ 環境に配慮した容器包装

---

▶ 資源の有効活用

---

▶ 周辺環境の保護

---

▶ 物流の環境配慮

---





## 環境

環境問題を重視しています。

### 環境マネジメント

#### 基本的な考え方

ロッテは、環境マネジメントシステム（EMS）の国際規格「ISO14001」に準じた活動を通じて、環境負荷の低減に努めています。

また、EMSがより実効的なものとなるよう環境監査を実施するとともに、従業員を対象とする教育・啓発活動にも取り組んでいます。

#### 環境活動推進体制

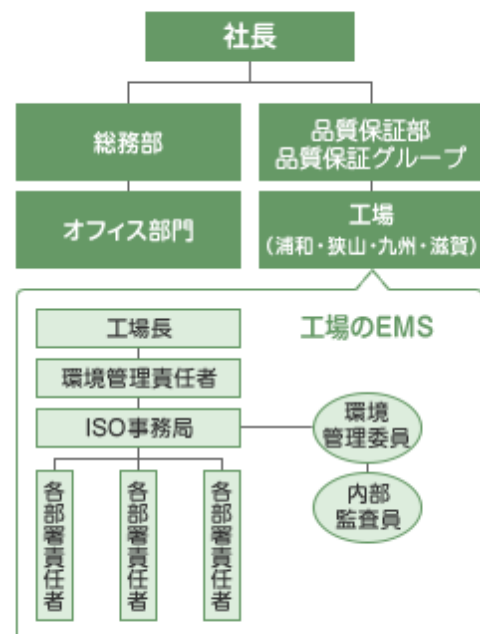
ロッテは、各工場がISO14001に則った環境負荷低減活動を実践し、品質保証部がその取りまとめを行うという体制のもと、環境保全活動を推進しています。

各工場では、工場長をトップとした環境管理体制のもと、工場の状況や実態に則した運営を行い、環境負荷の低減に取り組んでいます。

品質保証部は、全体のEMS運営管理業務の推進・支援を行っており、工場ごとのルールの規格化や標準化のほか、工場間での調整を支援する役割も担っています。

また、オフィス部門における環境保全活動は、本社総務部が中心に推進・実施しています。

ロッテの環境活動推進体制（2015年度）



## 内部環境監査

ロッテでは、年に1~2回、各工場で内部環境監査を実施し、環境保全活動の継続的な改善に活かしています。監査の際に使用するチェックリストは、すべてISO19011(※)の監査基準に準拠した内容となっており、監査項目や対象に合わせてチェック項目を追加・修正することで、監査の実効性を高めています。監査で指摘された「改善の機会(※※)」を踏まえ、各工場で改善を図っています。

	2014年度	2015年度
改善の機会の指摘(※※※)(件)	36	76

なお、監査員は、独自の基準により認定された「主任監査員」「監査員」が務めています。

	2014年度	2015年度
環境監査員認定者数(※※※)(名)	211	218

※ISO(アイエスオー)19011:品質及び/又は環境マネジメントシステム監査のための指針(ガイドライン)

※※改善の機会:「不適合ではないが、システム改善のために何らかの対応が望ましい」と監査員が判断した事象

※※※改善の機会の指摘件数および環境監査員認定者数:ISO14001を認証取得している4工場の合計値

## 従業員の教育・啓発

ロッテは、従業員一人ひとりが環境保全の重要性を正しく認識し、理解を深めることが重要と考えています。こうした考えのもと、新入社員、中途入社・転勤者など、新たに職場に入る従業員はもとより、臨時社員も含めて、同様の環境教育を行っています。

会社で研修形式の教育プログラムを実施するだけでなく、個人やグループが自主的に学習できる参考書やビデオなどを用意し、社内でも公開・共有しています。

また、各種法定資格の取得を奨励しており、エネルギー管理士や高圧ガス製造保安責任者などの育成に力を入れています。



環境教育の様子

### 環境教育の評価制度

教育活動の効果を高め、実際の環境活動につなげるために、教育・訓練の有効性評価、力量(コンピテンシー)評価を実施しています。認識度、力量進度の調査結果をもとに3~5段階で評価することで、環境教育の実効性の向上を図っています。

### 工場における環境学習会

ロッテの各工場で開催している環境学習会では、全従業員共通のISO14001に則った教育に加えて、各業務における環境への影響を理解・認識し、適切に対応できるよう、個人や部門を対象にした個別教育も行っています。これにより、業務の内容や専門度合いに応じた、より効率的・実質的な活動の推進をめざしています。こうした取り組みの成果として、例えば工場での新設備導入時に、省エネルギーを意識した高効率機器を選定するなど、環境への配慮が率先して行われるようになりました。



## 環境

環境問題を重視しています。

### 省エネ活動の取り組み

#### 基本的な考え方

ロツテは、限りあるエネルギーの使用量削減や環境負荷の低減を目的として、全社を通じて省エネ活動に取り組んでいます。

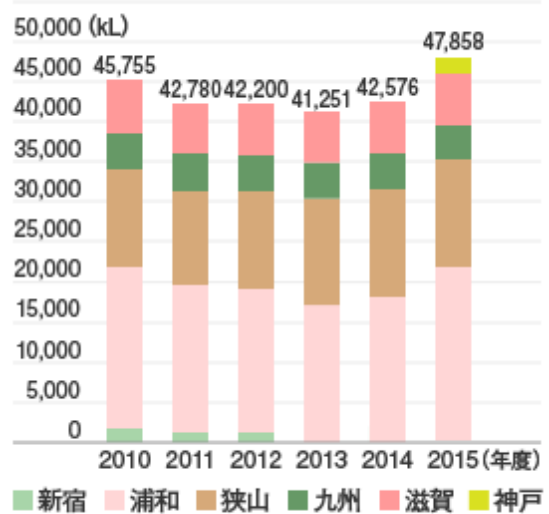
エネルギー使用量の多い工場では、省エネ設備・高効率機器の導入や燃料転換を進め、オフィスでは照明のLED化や「クールビズ」「ウォームビズ」といった活動を推進しています。

#### 工場の使用エネルギー管理

菓子・アイス製造では、加熱や冷却・冷凍工程が多いことから、生産工程に多くのエネルギーを使用します。ロツテは、使用エネルギーを適切に管理するとともに、省エネ法（※）における特定事業者の目標とされている「中長期的にみて年平均1%以上のエネルギー消費原単位の低減」の達成に向けて、各工場でのエネルギー使用量の削減に取り組んでいます。

※省エネ法：正式名称は「エネルギーの使用の合理化に関する法律」。石油危機を契機として1979年に制定された法律で、工場・事業場、輸送、建築物、機械器具の4分野の事業者のエネルギー使用について規制している。

各工場でのエネルギー使用量の推移



※2013年度に新宿工場は狭山工場へ移管しました。  
 ※2015年度に神戸工場が追加されました。

## 省エネ設備導入および省エネ改善活動

ロッテの各工場では、設備面や運用面などさまざまな角度から、省エネに向けた改善活動を実施しています。

### <設備>

1.生産工程での環境負荷低減に向けて、運転効率・能力の高い省エネ型設備の導入および更新を、順次実施しています。

### <運用>

2.省エネ委員会を開催し、取り組み成果やエネルギー使用量・CO<sub>2</sub>排出量の実績などを報告しています。

3.省エネ改善チームを設け、普段気がつかないエネルギーのムダを見つけ、一つひとつの小さな効果を積み重ねて確実な改善につなげることを目的に、「省エネパトロール」を実施しています。

「省エネパトロール」は、定期的に各工場で開催しており、施設の担当者および生産現場の担当者が工場を巡回して、エネルギー使用のムダがないかを確認しています。



省エネパトロール

- 節電の呼び掛け
- 圧縮エア漏れの防止に向けた改善
- 照明、空調、設備の電源など、生産ラインでのムダの削減

これらの活動は、従業員の省エネルギーに対する意識改善や啓発にも役立っており、今後も継続して取り組んでいきます。





## 環境

環境問題を重視しています。

### 環境に配慮した容器包装

#### 基本的な考え方

商品の容器包装には、商品がお客様のお手元に安心・安全な状態で届き、おいしく召し上がっていただけるよう、「商品の品質を守る」という大切な役割があります。しかし、商品を食べ終わるとごみになってしまうのも事実です。

ロッテは、容器包装の廃棄に伴う環境負荷をできる限り低減するために、容器包装の3R（リデュース・リユース・リサイクル）、特にリデュースの推進を注力目標と位置づけ、過剰包装の見直し、容器包装の軽量化・薄肉化（※）に取り組んでいます。

※薄肉化：厚みを減らすこと。

#### 包材の削減・軽量化

容器包装の包材を削減することは、省資源はもちろんのこと、発生するごみの削減にもつながります。ロッテは、各種の品質試験を経て、「商品の品質を守る」という容器包装の最も重要な役割を確保した上で、容器包装の薄肉化や面積の縮小化などに積極的に取り組んでいます。

##### ■ 集積用フィルムの軽量化（ガーナミルク）

集積用フィルムの厚みを減らすことで軽量化を実現。



0.53g/枚 ↓ (約23%削減)

##### ■ 紙箱の軽量化（ガーナスリムパック）

製品の紙箱の厚みを減らすことで軽量化を実現。



0.69g/枚 ↓ (約15%削減)

### ■ トレーの軽量化 (ミニ雪見だいふく)

トレーを袋で包む梱包形態からトップシール包装に変更。トレーの材質も変更し、軽量化を実現。



2.25g/個 ↓ (約18%削減)



## 環境

環境問題を重視しています。

### 資源の有効活用

#### 基本的な考え方

ロッテ商品の原材料の多くは自然の恵みであり、事業を維持・存続していく上で、地球環境を保全していくことは不可欠です。ロッテは、限られた資源の有効活用に努めるほか、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を実践し、廃棄物発生量の低減に取り組んでいます。

#### 工場におけるリサイクル

ロッテの各工場では、最終的に埋め立て処分となる廃棄物を0%に抑えるゼロエミッションへの取り組みを継続しており、2015年度はリサイクル率99.7%となりました。今後もこれらの取り組みを継続していきます。

生産工程での廃棄物発生量とリサイクル量の推移





## 環境

環境問題を重視しています。

### 周辺環境の保護

#### ❖ 基本的な考え方

ロッテの工場の周囲には、住宅やオフィスが多いことから、周辺環境には特に配慮しています。地域に根ざし、地域と共生する工場として、周辺の大気・水質への影響を最小限に抑えるために、さまざまな取り組みを進めています。

#### ❖ 臭気対策

ガムやチョコレートなどの商品にはさまざまな香りがついていますが、この「香り」も工場外部に放出されると、「臭気」という環境負荷になってしまいます。そのため、強力な脱臭装置を設置して香りが外部に漏れないよう対策しています。

#### ❖ 水質の保全

各工場周辺の水質保全に向けては、排水処理施設を適切に管理・運用し、法令を遵守した排水を行っています。また、これらの取り組みの効果と、水環境の現状を把握するため、法律（食品衛生法・下水道法・水質汚濁防止法など）、条例（公害防止条例など）に基づき、上下水の水質および汚泥（廃水処理で発生する産業廃棄物）について、以下の測定・確認を実施しています。2015年度末現在、全工場において、適用される法律・条令などの基準すべてを満たしています。

上水（市水・井水）：仕込み水用途の上水の水質測定分析

上水（工業用水）：仕込み水を除く用途の上水の水質測定分析（自主分析）

下水総合排水：廃水処理後の水質の適正管理

脱水汚泥：廃水処理場の汚泥に有害物質が含まれていないことを確認

冷却塔冷却水：冷却水のレジオネラ属菌類の検査をして水質管理が適正であることを確認（自主分析）

さらに各工場では、従業員の意識啓発や施設点検・メンテナンス、敷地内での水質モニタリングなどにも取り組んでいます。





## 環境

環境問題を重視しています。

### 物流の環境配慮

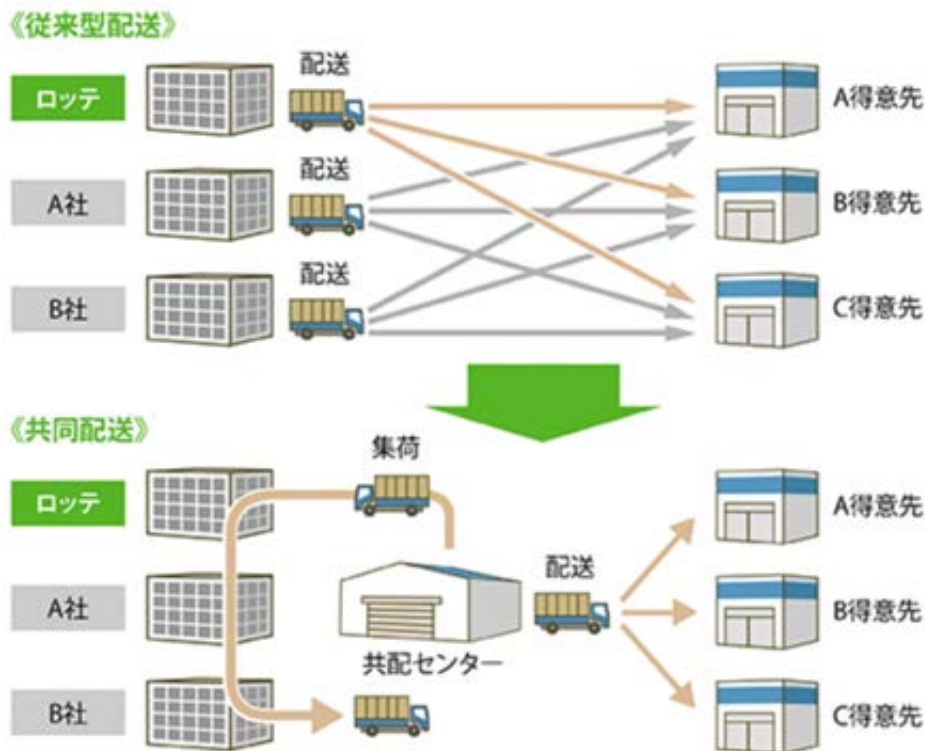
#### 基本的な考え方

日本全国のお客様に商品をお届けしているロッテにとって、物流に伴う環境負荷の低減も、大切な取り組み課題の一つです。ロッテは、商品積載数の向上に努めるとともに、同業他社との共同配送の取り組みやモーダルシフトを推進することで、負荷の低減に努めています。

#### 共同配送の取り組み

ロッテでは、同業他社や運送業者・倉庫業者などと協力し、一部エリアの商品配送を共同で行うことで、トラックの台数を減らし環境負荷の低減につなげています。

#### 共同配送のイメージ



※図は共同配送の一例です。

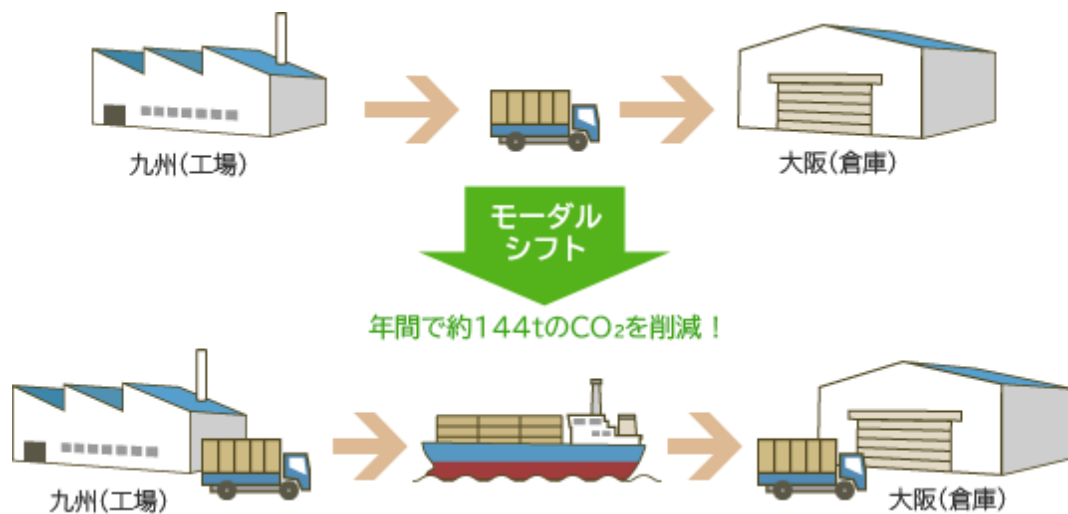
## モーダルシフトの推進

モーダルシフトとは、輸送手段をより環境負荷の少ないものへ転換することです。遠くの地域へ多くの商品を輸送する際、トラックなどよりも、鉄道や船舶などを利用するほうが、一度に多くの商品を運ぶことができ、環境負荷の低減につながります。

ロッテでは、このモーダルシフトの一環として、船舶の活用を推進しています。現在は九州から大阪への商品の輸送に船舶を使用することでCO<sub>2</sub>排出量を削減しています。

	2014年度	2015年度
CO <sub>2</sub> 排出量の削減（トン／年）	約328	約144

こうした取り組みが認められ、2002年度に「エコシップマーク優良事業者」(※)に認定されています。また、船舶以外にも、関東から九州、北海道などの長距離輸送の一部で鉄道を活用しています。



九州-大阪間の船舶輸送  
フェリーに乗り込むロッテ商品を載せたトラック

※エコシップマーク事業者：エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会に認定された、環境負荷の少ない海上輸送を一定以上の割合で利用した荷主企業や物流企業のこと。



エコシップマーク



## 社会貢献

社会貢献にも積極的に取り組みます。

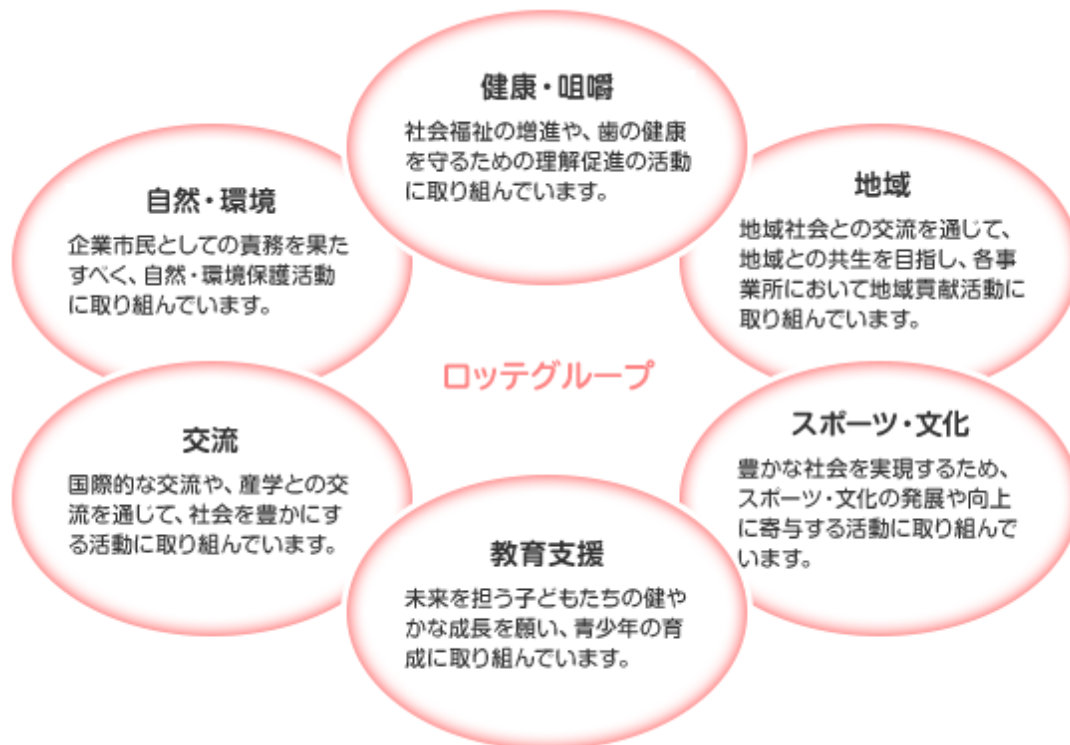
### 社会貢献活動

#### 基本的な考え方

ロッテグループは、「社会との共生」をテーマに掲げ、社会貢献活動に取り組んでいます。活動にあたっては、事業活動に関連する分野、また、特に社会的要請の高い分野から「健康・咀嚼」「地域」「スポーツ・文化」「教育支援」「交流」「自然・環境」の6つの領域を選び、これに合致する活動に優先して取り組んでいます。

→ [社会貢献詳細はこちら](#)

#### 社会貢献の重点活動分野



そのほかの活動については、ロッテホームページ内CSR「社会貢献活動」でご紹介しています。

→ [社会貢献詳細はこちら](#)

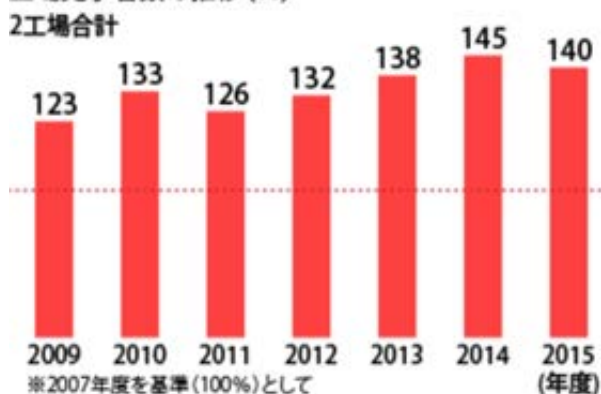
## 工場見学を通じた地域交流の実施

主力工場である浦和工場と狭山工場では、お客様や地域の方々を対象とした工場見学を実施しています。安全・安心なお菓子づくりの様子を実際にご覧いただくとともに、環境への取り組みを知っていただくための大切なコミュニケーションの場として、子どもたちを対象とした食育推進活動に取り組んでいます。

2工場の見学者数の累計は、2015年度末時点で30万人を超えました。現在、狭山工場では、チューインガムの包装ラインの見学のほか、模型を使ったお菓子づくりの説明や食品素材を使った体験実験などを実施しています。浦和工場ではチョコレート製品の生産ラインを紹介しています。また、浦和工場は、2013年にさいたま市の「環境に関する協力事業所」として登録されています。その活動の一環として、CSRレポートに掲載した環境に関する記事の一部などをホールに展示しています。

今後も、子どもたちにとって身近なお菓子づくりに関する学習機会を通じて、「食」や「ものづくり」、「環境保全」などに対する興味・理解を喚起してまいります。

工場見学者数の推移(%)



身近なキャラクターをディスプレイ。  
季節によって演出を変えています。

### 狭山工場



入口では季節の草花がお出迎え

歴代のコアラのマーチのパッケージを展示

ハロウィンの展示を実施

### 浦和工場



展示物も季節に合わせてお色直し

ホールでは環境活動について展示



見学通路から見るできない製造工程を  
模型や実験などでわかりやすく説明しています。



狭山工場 コアラのマーチの生地焼き実験



狭山工場 ガム糖衣がけ模型

### 親子のふれあいに貢献

浦和工場・狭山工場の工場見学では、小・中学校の社会科見学など、団体を主な受け入れ対象としていますが、学校が休みの期間には、少人数のグループによる見学も受け入れています。ご家族でお菓子ができあがるまでの工程を楽しくご覧いただいています。

### 見学いただいた小学生の感想(一部抜粋)

- いろいろ教えていただきありがとうございました。
- ロッテ工場でこんなにたくさんのおかしをつくらっているなんて知りませんでした。
- コアラのマーチの絵のしゅるいの多さにびっくりしました。
- ロッテのことがわかりました。
- いろんな実験ができてたのしかったです。
- シャルロッテという女の人の名前をもとに、ロッテという名前になったことをはじめてしりました。



### → バーチャル工場見学

ロッテのお菓子ができる工程を、  
動画や写真で見ることができます。



## その他の活動トピックス (2015年度)

### [自然・環境] 環境教育プロジェクトに協力

ロッテは、子どもたちが夢中になる環境授業をめざして始まった「地球教室」(朝日新聞社主催)の特別協賛企業の1社として活動しています。この教育プログラムの一環として毎年開催されている、エコ先進企業の取り組みを学ぶ双方向型授業「かんきょう1日学校」に社員が講師として参加しています。2015年度は9月23日に授業が実施され、全国から抽選で選ばれた小学4~6年生約130人を対象に、「野生のコアラを守る」をテーマとして授業を行いました。

また、小学校への出張授業も実施しています。11月には北海道の小学校でコアラの保護活動などを、また12月には当社狭山工場に小学生を招いて工場の省エネ活動などを紹介しました。



### [交流] 奨学事業及び研究助成事業 (公益財団法人ロッテ財団)

当財団は2007年4月に、株式会社ロッテの創業者である重光武雄氏によって設立された「財団法人 ロッテ国際奨学財団」を前身としています。

日本が果たしうる国際貢献として、日本に私費留学している外国人学生を支援する目的で開始され、事業発足以来の奨学生数は累計で440名を超えました(2015年3月現在)。

そして2012年4月、「公益財団法人ロッテ財団」として認定を受け、さらなる公益事業の充実と発展を目指して、これまでの奨学事業に加え、もう一つの公益事業の柱とすべく、「食と健康」をテーマとした研究助成事業を立ち上げました。本事業の一環として、2014年3月から、優秀な若手研究者を助成する研究者育成助成(ロッテ重光学術賞)及び奨励研究助成を行っています。

2015年度は、「研究者育成助成(ロッテ重光学術賞)」の応募者29名中から3名、「奨励研究助成」の応募者106名中から13名を採択し、来賓、財団役員・評議員、選考委員ご臨席のもと、2016年2月に受賞者への贈呈式を執り行いました。

ロッテグループは、さらなる社会貢献を実施する観点から、「夢の実現」を目指して日々努力する若い人材の育成に賛同し、今後とも支援していきます。

### [教育支援] 「手作りチョコレート」教室などを各地で開催

食育教育の一環として、ロッテはお得意先様などの協力をいただきながら、全国各地で「チューインガム教室」や「チョコレート教室」を開催しています。これらの教室ではビデオ上映やクイズ大会なども併せて実施し、菓子についての知識もさらに深まったとご好評いただいています。また、ロッテアイスでは、レディーボーデンでキャラクターレシビ"笑うアイスクリーム"を作って楽しむ「親子で楽しむアイス教室」を各地で開催しました。2016年度も、こうした活動を続ける予定です。



### [健康・咀嚼][環境] キシリトール学校講座の開催

当社は2008年から、公益財団法人「日本学校保健会」と共催で「キシリトール学校講座」を開催しています。

本講座を通して、よく噛んで食事をすることや食後の歯みがきを徹底することはもちろん、日常生活の中でキシリトールを習慣として取り入れることが、歯を丈夫で健康に保つことにつながることを、児童・保護者・小学校教職員の方々にお伝えしています。

また、講座の開催と併せて、キシリトールの原料となるシラカバの木の記念植樹も行っています。この活動を通じて、さまざまな団体や企業がコラボレートしながら植樹を進める環境保護活動「ハートツリープロジェクト」にも参加しています。

2015年度は、応募いただいた中から選ばれた8校の小学校で「楽しく学ぼう歯の健康づくり」と題した講座を開催。歯と口の健康づくりの授業などを通じて、良好な生活習慣の形成支援に貢献し、地球環境を守るための活動を展開しました。

### 「キモチつながるプロジェクト」を展開

「お菓子のチカラで、みんなを元気に」。ロッテは、創業以来この想いをずっと大切にしてきました。

2011年4月からは、お菓子がもつ不思議なチカラ——人の気持ちを和ませたり、気持ちと気持ちをつないだりするチカラで、みんなのキモチをつないでいきたい、という想いのもと、「キモチつながるプロジェクト」を展開。手づくりお菓子教室やスポーツイベントなどの支援活動を通じて、たくさんのキモチをつなぐ活動を行っています。

今後もこれらの活動を継続していく予定です。



→ [「キモチつながるプロジェクト」](#)

そのほかの活動については、ロッテホームページ内「社会貢献活動」でご紹介しています。

→ [社会貢献詳細はこちら](#)



## 海外の取り組み

海外でも社会貢献を推進します。

### 海外での社会貢献活動

#### ❖ 歴史ある社屋の外観を保存：ポーランド

ポーランドの首都ワルシャワにあるグループ会社・ロッテウエデル社の本社社屋（工場、オフィス）は、1927-1931年にかけて建設された歴史的に価値のある建造物です。特にその壁面は、第二次世界大戦の混乱を経てなお建設当時の姿を保っており、当時のワルシャワの建築を現代に伝える重要な産業遺産に指定されています。この社屋の外見を保つため、2007年から2010年にかけて外壁の清掃を行ったほか、増改築などを実施する際は、現地・ワルシャワ市の法令に従い、適宜必要な許可を得ながら進めています。



ロッテウエデル社屋

#### ❖ 野生のコアラの保護を支援：オーストラリア

オーストラリアだけに生息する野生動物コアラは、都市開発などにより生息数が大幅に減少しています。同国では野生コアラの調査と長期にわたる保護を目的に「コアラ基金」が設立され、主食であるユーカリの森を守り植樹するなど幅広い活動が展開されています。

ロッテは「コアラのマーチ」の発売10年にあたる1994年から同基金に協力し、日本におけるゴールドスポンサーとして、絶滅危惧種にも指定されるコアラの保護活動を支援しています。



#### ❖ "お母さんを笑顔にする活動"を支援：ガーナ

ロッテでは、途上国の妊産婦と女性を守る公益財団法人「ジョイセフ」の"お母さんを笑顔にする活動"に賛同し、2008年から毎年、ガーナ共和国へ再生自転車約200台分を届ける取り組みを支援しています。

診療所が不足している現地の村に届けられた再生自転車は、保健推進員や助産師が利用し、妊産婦の診療所への搬送や家庭訪問による健康教育などに用いられます。1台の自転車によって600~800人に基礎的な保健医療活動を行えるようになるとのことです。

今後も女性を笑顔にする活動を支援していきたいと考えています。



ジョイセフ  
**JOICFP**  
途上国の妊産婦と女性を守る



©Miki Tokairin / JOICFP